



国家公務員共済組合連合会 名城病院長

伊藤 隆之

この度、早川前病院長の後任として、4月1日より病院長を拝命いたしました。皆様方にご挨拶を申し上げます。

名城病院は昭和37年に現在の地に開院して以来、明年には50周年を迎えようとしています。また、現病院棟は今年築11年目を迎えました。病床数364床の地域の中核病院として15診療科2センターで急性期医療、救急医療を担っています。連合会の組合に加入の皆様方はもとより広く名古屋地域の皆様方に信頼されて今日に至っています。今後も社会情勢、医療情勢、医療の進歩に適切に対

応進化させ、ご来訪される患者さん、近隣の医療機関の皆様方の信頼をいただける質の高い、安全な医療を提供いたします。また同時に病院で働く多くの職種の方々が誇りを持って活動できる環境を築きます。

自己紹介をさせていただきます。私は昭和46年名古屋大学医学部を卒業し、当名城病院で研修医、内科医として歩み始め多くの先輩にご指導いただきました。昭和49年には名古屋大学医学部第二内科の循環器グループに属し昭和52年助手、昭和63年講師、平成6年助教授、平成10年保健学科教授、平成12年度より保健学

科長（名古屋大学医療技術短期大学部部長併任）就任の後、平成14年10月より愛知医科大学循環器内科教授、平成16年度より大学病院副院長・医療安全管理室長、平成19年度より2期4年間病院長を務めました。特徴は①名城病院での勤務経験、②大学病院長としての運営経験（愛知医科大学では法人全体の資金運用問題による新病院建設中断より再開にいたる病院運営に尽力）、③医師とコメディカルと両方の教育に関与（保健学科長として大学院設置に尽力）でしょうか。

敬愛する先輩方が今日まで築いてこられた伝統ある名城病院を職員一同力を合わせてさらなる向上に務め、信頼され、選ばれ続ける病院といたします。皆様方のご指導鞭撻をお願い申し上げます。

名城病院の理念

1. 良い医療を安全、確実に提供することは、私たちの使命です。
2. そのために、私たち、職員全員は、プロ意識を持ってそれぞれの技術とサービスを向上させ、医療の質と安全の管理に最大限の努力を払います。
3. 私たちは、患者様の権利を尊重し、最もふさわしい、納得の行く医療を行います。
4. 私たちは、地域社会と協力して人々の健康と福祉の向上に奉仕します。
5. 私たちは、病む人には安らぎと満足を、職員には働きやすさと誇りの得られる病院をめざします。

以上のとおり、病院の果たすべき使命とあるべき姿を認識し、皆さんに「親しまれ、信頼され、喜ばれる病院」であるように、常に努力します。

患者さまの権利

名城病院は患者の皆さまの権利を尊重します。

1. 安心して最善の医療を受ける権利を尊重します。
(適切な医療を受ける権利)
2. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を尊重します。
(知る権利)
3. 治療に関する方法を自己の意志で決定する権利を尊重します。
(自己決定の権利)
4. 個人の情報が保護される権利を尊重します。
(プライバシーが保護される権利)

これらの権利を守り発展させるため、患者の皆さまは私たちと協力し、医療に参加していただきます。
(医療に協力する責任)



任期を終えて

この3月末、院長職を無事終えることができました。お世話になりました皆様に感謝しております。新築間もない病院で働けることを楽しみに名城病院に赴任しました。わが国は行財政改革と医療バッシングの最中でした。

病院の長所・短所を知り、良い医療を安全確実に提供することを名城病院の目標にしようと考えました。医療は病院の職員全員参加のチームプレーです。良いチームにはチームの和が必要です。人間関係をなごやかにするためには、朝夕の挨拶、会議などの時間や約束を守る、わかりやすい指示や言葉遣い、など誰でも実行可能なことを心がけました。おかしい、いつもと違うと思った時に、お互いに質問できる仲の良さが大切で、これらは医療の安全にも役に立ち、患者さん・職員双方の幸せにもつながります。以上のようなことを心が

けて、良い医療を安全・確実に提供でき、同時に、経営も安定すれば、名城病院も地域医療に貢献でき、さらに、職員も誇りを持って働くことができれば良い、と盛り沢山の思いを胸にスタートしました。

急性心筋梗塞対応の循環器当直、呼吸器・消化器・腎糖尿病・脳血管障害などの内科外科疾患対応の一般当直などによる急性期医療の充実、脊椎脊髄センターによる側弯症の最先端の治療の導入、新臨床研修制度への参加、看護師教育の充実と離職率の改善、院外処方箋と服薬指導、DPC（包括医療費）の導入、病院機能評価、小集団活動による医療の質の改善運動、地域の医療施設との病診連携、防災訓練など多くの事柄に職員一同が骨身を惜しまず協力して下さったことが懐かしく思い出されます。また、これを可能にしてくれた家族の協力、足りないところを我慢し、育てて下さった患者さんご家族、さらには住民の皆様、地域の病診の先生とスタッフの方々などには大変感謝しております。筆舌に尽くし難いとはこのことかと思えます。ありがとうございました。

透析室リニューアル！！

慢性維持透析患者数は全国で毎年約1万人近く増え続けており、平成22年度末には約30万人に達すると言われてしています。この数は国民約400人に1人という割合で、決して少なくない値だと思います。当院でも毎年50人程の患者様が新たに血液透析を導入する状況があります。

導入原疾患は多岐にわたりますが、現在、糖尿病性腎症による透析導入患者様の割合は年々増加し、現在は全体の約50%を占めており、しかも平均導入年齢も上がっています。こういった背景からもみてとれるように、導入後のスタッフによる患者ケアへの負担も全国的に年々増す一方で、当院でも現状は同じです。その様ななかで、平成



23年2月～3月にかけ透析装置および老朽化や汚れていた備品や内装等も一新し透析室をリニューアルすることが出来ました。まず、患者様横にある透析装置（ベッドサイドコンソール）ですが、以前の装置と比べると自動



化がかなり進み、スタッフへの負担軽減や業務効率の向上が期待でき、患者様へより一層目が向けられるようになると思われます。

また、当院オーダーリングシステムとの連携により、将来の電子カルテ化にも対応可能です。

患者様には装置が新しくなったことによるいろいろな安全機能の追加や透析用水のさらなる清浄化等で、より安全でかつ質の高い透析医療を提供出来るようになりました。生まれ変わってキレイになった透析室で気持ち良く日々の透析生活を送って頂ければと思っております。それらを維持していくには、スタッフの日々の学習や技術の向上、装置のメンテナンスが必要不可欠だと思います。スタッフ一同が初心を忘れず日々の業務に取り組んでいきたいものです。

新任
ドクター
紹介



脳神経外科部長

三井 勇喜
ミツイ ユウキ

この4月から赴任になりました脳神経外科の三井勇喜と申します。脳神経外科一般（外傷、脳腫瘍、脳血管障害）、なかでも脳血管障害（脳卒中）を中心に担当しています。脳の病気は怖いものが多いですが、生活習慣の改善などで未然に防げるものや早期発見で後遺症なく済む病気もあります。どうぞお気軽にご相談ください。親身の医療を心がけています。よろしくお願いいたします。



外科医長

横山 真也
ヨコヤマ シンヤ

初めまして。4月1日より名城病院外科に赴任して参りました横山真也と言います。前は碧南市民病院に勤務していました。当院はスタッフの皆様が温かく、また設備も充実しており、非常に働きやすいと感じております。これからは患者様のために一生懸命動きますのでよろしくお願いいたします。



整形外科

鈴木 喜貴
スズキ ヨシタカ

はじめまして。4月より新たに当院整形外科に赴任しました。当科では全員が脊椎疾患を専門としており、その扱う疾患・領域は広く、小児から高齢者の方の脊椎に関わる疾患全てを対象としております。脊椎疾患により日常生活に苦しんでいる方々は多く、その手助けをさせていただきます。よろしくお願いいたします。



専修医

徐 大樹
ソ テス

愛知医大病院より赴任となりました徐と申します。地元は名古屋市で、循環器内科に属しております。慎重な手を抜かない医療を提供させて頂こうと考えております。よろしくお願いいたします。

研修医紹介

どうぞよろしくお願い致します。



伊藤 悠介
イトウ ユウスケ



野村 悠希
ノムラ ユウキ



岡田 真誠
オカダ マサミチ



露木 敦士
ツキ アツシ



水谷 吉宏
ミズタニ ヨシヒロ



加藤 一朗
カトウ イチロウ



南部 隆行
ナンブ タカユキ



村松 洋行
ムラマツ ヒロユキ

NEWS

人事往来 (管理職)

伊藤 隆之

イトウ タカユキ

採用・名城病院院長
前職・愛知医科大学病院院長

早川 哲夫

ハヤカワ テツオ

現・名城病院顧問
前・名城病院院長

落合 逸男

オチアイ イツオ

現・名城病院事務部長
前・東海病院事務部長

佐々木 弘美

ササキ ヒロミ

現・九段坂病院事務部長
前・名城病院事務部長

栄養部

食事と運動のカロリーって

人は日々食事から栄養をとっています。栄養のバランスを良くすることにより健康を維持することができる反面、バランスが崩れると病気を引き起こす原因になります。

一方使われるカロリーは、ただ寝ているだけでも基礎代謝により消費されますが、適度な運動をすることにより効率よくカロリーを消費して体調を整え、体重のコントロールにも役立ちます。

巷ではマラソン・サイクリング・山ガール等々ブームのようですが、車の普及により現代人が運動不足になりがちな条件はそろっています。そこでおすすめしたいのが、無理なく続けられる有酸素運動です。

当院及び周辺で行える歩行運動例 (70m/分)

男性60歳 体重60kg・女性60歳 体重50kgの場合

運動種類	キロカロリー	
	男性	女性
階段昇降 (地下2階～屋上往復)	73	58
病院敷地1周	18	15
名古屋城お堀1周 (当院北側 約2,700m)	132	104



有酸素運動にはストレッチ体操・ウォーキング・水中歩行・軽いジョギング・サイクリング・エアロピクスなどがあります。年配の方はスローステップ(ゆっくりとした踏み台昇降運動)などいかがでしょう。自宅に居ながら出来ますよ。

運動する時間がとれない人は、近所に出かけるときは徒歩で行く、エレベーターやエスカレーターの代わりに階段を使うなど、日常生活を少し見直すことで運動につながります。

食事と運動はバランスが大切です。食べすぎに注意し少しずつ運動出来るよう心がけましょう。(受診中の方は運動する前に主治医にご相談ください)

栄養部給食科主任

中島 充功

編集



今年も春がやって来た。「春眠暁を覚えず」と言うが、健康を保つ上でこの睡眠が案外大切なのである。近年、うつ病が急速に増えつつある。わが国では、うつ病の患者さんは100万人を超え、この10年で約2.4倍になっている。一方、平均睡眠時間も大きく変化しており、この50年で約1時間短くなっている。うつ病の患者さんを調査すると、明らかに睡眠時間が足りなかったり、体のリズム(ホルモンの周期)と同期していないことが多いという。健康のためには最低6時間の睡眠が必要である。忙しくて睡眠時間を確保できない人こそ、うつ病予防のためにプラス1時間の睡眠を心がけてはいかがでしょうか。

後記

記

名城病院診療等のご案内

ホームページはこちら <http://www.meijohosp.jp>

診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)
外科・整形外科・脳神経外科・心血管外科
皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科
歯科口腔外科・神経内科

お問合せは、

- ・ 午後の診療等、詳しくは、医事課まで(内線2132)
- ・ 医療福祉に関しては、医療福祉相談室まで(内線5105)

医療機関の方へ

- ・ 病診連携に関しては、病診連携室まで(内線2151)

診察受付時間

[新患受付] 午前8:30～11:30まで
[再来受付] 午前8:00～11:30まで

面会時間

[一般] 午後0:30～8:00まで
[新生児] 午後0:30～8:00まで(授乳時間を除く)
[ICU] 午後0:30～4:30まで(家族のみ)
午後5:00～8:00まで

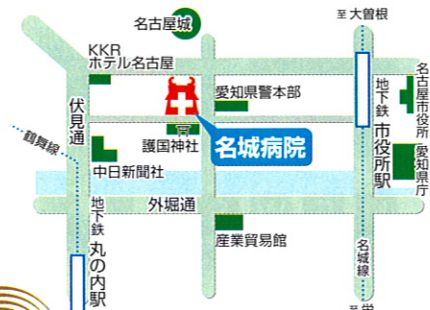
※生花の病室への持込は、感染予防のためご遠慮願います。

診療案内

[休診日] 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)
創立記念日(11月6日)

所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL <052> 201-5311 FAX <052> 201-5318



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。